

2018年9月12日

報道各位

株式会社 三菱地所設計

「台北南港商三特区再開発プロジェクト」受注のお知らせ

株式会社三菱地所設計（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：林 総一郎）は、このほど台北市東部、南港エリアにおける「台北南港商三特区再開発プロジェクト」を受注しましたのでお知らせします。



南側外観：手前がオフィス棟 奥が住宅棟

敷地は、台北市の戦略エリアに位置付けられている「台北東区門戸計画」において、その中心となる南港駅に隣接しており、周辺には台湾バイオテクノロジー研究センターや南港ソフトウェアパーク、台北ポップミュージックセンターなど重要で大型の公共施設が集約しています。プロジェクトは、東西約 250m、南北約 100mの敷地にオフィス、住宅、商業、展覧会場、バスターミナルからなる大型複合施設をつくるもので、敷地地下には南港駅に乗り入れる地下鉄台北 MRT、在来線台湾鉄道、新幹線台湾高速鉄道の線路が東西に貫通しており、線路をよけて建築の地下部分をつくるという特殊な条件がありました。

これに対し当社は、周辺の緑豊かな敷地と調和した緑の丘にタワーを配置し、街路やペDESTリアンネットワークで周辺をつなぐ提案を行い高い評価を得て、2018年4月、受注に至りました。8月13日には、台北市と潤泰創新國際股份有限公司との間で正式調印式が行われました。引き続きコンペ案をもとに詳細な設計を進め、2020年着工、2026年に竣工する予定です。

〈 本件に関するお問合せ先 〉

株式会社三菱地所設計 広報室 TEL:03-3287-5001

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

【建物概要】

計 画 地：台湾台北市南港区忠孝東路七段（北街区）

事 業 主：潤泰創新國際股份有限公司

デザイナー・アーキテクト(住宅以外)：三菱地所設計

※ランドスケープ・ライティング・内装含む

現地アーキテクト：陳傳宗聯合建築師事務所

主要用途：オフィス、コンベンションセンター、住宅、
商業、バスターミナル

敷地面積：26047.65 m²

延床面積：約 380,000 m²（予定）

規 模：地下 6 階、オフィス地上 33 階・住宅地上 39 階（予定）

竣工予定：2026 年



【契約調印式】

8月13日、台北市副市長林欽榮氏、台北市都市發展局長林洲民氏、交通部台湾鐵路管理局局長鹿潔身氏、潤泰創新國際股份有限公司簡滄圳董事長と李志宏総経理、陳傳宗聯合建築師事務所陳傳宗建築師が出席し、プロジェクトの契約調印式が執り行われ、正式にプロジェクトがスタートしました。当社からは、プロジェクト統括を務める須部恭浩が出席しました。



左から陳傳宗聯合建築師事務所建築師 陳傳宗氏、当社チーフアーキテクト 須部恭浩、潤泰創新國際股份有限公司 総経理 李志宏氏、左から5番目潤泰創新國際股份有限公司 董事長 簡滄圳氏、台北市副市長 林欽榮氏、交通部台湾鐵路管理局 局長鹿潔身氏、台北市 都市發展局長 林洲民氏。



オフィス・展覧会場・商業施設をみる



展覧会場内部